

(2) 全体的な傾向

- ・学習指導要領の内容では、「話すこと・聞くこと」の領域が全国と同じ値であり、他の「読むこと」、「書くこと」「言葉の特徴や使い方に関すること」などは全ての領域で全国・県を上回っている。
- ・評価の観点別では、全国・県と比べて、「知識・技能」・「思考・判断・表現」ともに上回っている。

(3) 今後の取組

- ・全体として全国平均を上回っており、基本的な知識・理解、思考力・判断力・表現力の双方でよい結果が出ているので、今後も、活用と習得のバランスのとれた授業を行っていききたい。
- ・全国平均と比較して、低かったのは「話し合いの話題や発言を踏まえて自分の考えを書く」という問題であったので、授業では「話すこと・聞くこと」の領域に重点を置き、日常生活の中でも話し合い活動や自分の意見を持つこと(発表・感想文記入など)をより意識して取り組んでいきたい。



(数 学)

全国・県を上回る

(1) 全国との比較(全国の平均正答率と比べて)

- ① 高かった問題(正答率が全国を5ポイント以上、上回ったもの) 16問中6問
- ・ n を整数とすると、連続する二つの偶数を、それを用いた式で表す
(「連続する2つの偶数を、文字を用いた式で表すことができるか」を見取る問題です)
 - ・2枚の10円硬貨を同時に投げるとき、2枚とも裏が出る確率を求める
(「簡単な場合について、確率を求めることができるか」を見取る問題です)
 - ・障害物からの距離が10cmより小さいことを感知して止まる設定にした車型ロボットについて実験した結果をもとに、10cmの位置から進んだ距離の最頻値を求める
(与えられたデータから最頻値をもとめることができるか)を見取る問題です)
 - ・ストーブの使用時間と灯油の残量の関係を表すグラフとY軸との交点PのY座標の値が表すものを選ぶ
(2つのグラフにおけるY軸との交点について、事象に即して解釈することができるか)を見取る問題です)
- など
- ② 低かった問題(正答率が全国を5ポイント以上、下回ったもの) 15問中2問
- ・一次関数 $y=ax+b$ について、 $a=1$ 、 $b=1$ のときのグラフに対して、 b の値を変えずに、 a の値を大きくしたときのグラフを選ぶ
(「一次関数について、式とグラフの特徴を関連付けて理解しているか」を見取る問題です)
- など



(2) 全体的な傾向

- ・学習指導要領の領域別では、「数と式」「関数」「データの活用」では全国・県を上回っているが、「図形」では全国・県を下回っている。
- ・評価の観点別では、全国・県と比べて、「知識・技能」・「思考・判断・表現」ともに上回っている。

(3) 今後の取組

- ・全体的には、全国平均と比べて高い傾向にあるので、今後も基礎・基本を確実に習得させるとともに、生徒自身が説明したり、意見交流する授業をこれからも工夫していききたい。
- ・全国平均よりも正答率が低かった問題の4問中3問は選択式の問題である。短答式や記述式の問題は正答率が高いことから、文章を読み取る力や状況を想像する力が弱く、選択肢の差異を判断することが苦手と考えられるので、言葉の意味や数学的な表現の仕方を具体的に確認しながら、授業を進めていきたい。